

いいだ 市議会だより

No. **190**

平成26.4.22

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町



R100
古紙配合率100%紙

第1回定例会開催
行政評価・提言への対応
ズバリ市政を問う（一般質問）

②

④

⑥ ⑦

市道1-1 林橋並木大宮線
(通称 並木通り)の桜並木

第1回
定例会平成26年度飯田市一般会計
予算案など81議案を可決・同意

本会議の様子

定例会のあらまし

第1回定例会は、2月26日から3月20日まで23日間の会期で開催しました。

飯田市下水道条例及び飯田市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例、飯田市水道条例及び飯田市簡易水道給水条例の一部を改正する条例、及び平成26年度飯田市一般会計予算(案)など81件が上程されました。うち7件は報告を受け、人事案件2件を本会議で同意、除く72件のうち16件は本会議で原案のとおり可決し、56件は所管の委員会が慎重な審査を経た後、いずれも本会議で原案のとおり可決しました。

なお、本議会に上程された議案には、26年4月1日からの消費税率引き上げに伴う公の施設及び公営企業等の使用料等を値上げする条例案が12議案含まれており、委員会審査でも活発な討論がありました。

これに関し、最終日の本会議での条例改正を認める委員長報告に対し、消費増税に反対の立場から、議案第8号、第9号、第10号、第13号、第21号、第61号「平成26年度飯田市簡易水道事業特別会計予算(案)」、第62号「平成26年度飯田市下水道事業特別会計予算(案)」及び第67号「平成26年度飯田市水道事業会計予算(案)」について反対討論がありました。

また、同様に、議案第7号、第17号、第18号及び第20号については反対の意思表示がありました。

採決の結果、いずれも賛成多数で可決しました。

請願・陳情については、請願1件、陳情4件が提出され、最終日の本会議では、陳情第1号、第2号及び第4号について不採択とする委員長報告に対して反対の討論がありました。

採決の結果、陳情第1号、第2号及び第4号は、賛成多数で委員長報告のとおりいずれも不採択となりました。

また、一般質問では、19人の議員が市政全般からそれぞれの分野の質問を行いました。6ページから紹介します。

消費税関連条例一覧

議案第7号	飯田市麻績の里交流センター設置条例及び飯田市ふれあいの郷松ぼっくりの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第8号	地方卸売市場条例の一部を改正する条例の制定について
議案第9号	飯田市天龍峡温泉交流館条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第10号	飯田市下水道条例及び飯田市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について
議案第13号	飯田市有線テレビジョン放送施設条例及び飯田市遠山郷有線テレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例の制定について
議案第14号	飯田市考古資料館条例の一部を改正する条例の制定について
議案第15号	飯田市旧小笠原家書院・小笠原資料館条例の一部を改正する条例の制定について
議案第17号	飯田市公民館条例等の一部を改正する条例の制定について
議案第18号	飯田文化会館条例等の一部を改正する条例の制定について
議案第19号	竹田扇の助記念国際系繰り人形館条例の一部を改正する条例の制定について
議案第20号	飯田市美術博物館条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第21号	飯田市水道条例及び飯田市簡易水道給水条例の一部を改正する条例の制定について

議案に対する質疑と審査

提出議案等については、総務、社会文教、産業建設の各常任委員会に付託され、集中的に審査しました。

質疑等の内容は、8ページからの常任委員会のページで紹介します。

本会議での討論

委員会における議案及び陳情の審査結果に対し、次の議案について本会議で反対の立場から討論がありましたので紹介します。

議案第8号、第9号、第10号、第13号
第21号、第61号、第62号及び第67号

条例改正に反対

一連の利用料や使用料の値上げは市民の暮らしに打撃を与えるものでしかない。公の施設や上下水道の使用料等の値上げは、利用の抑制につながるものである。市としても市民の暮らしを第一に考えれば消費増税分の転嫁をすべきではない。

陳情第1号
陳情第2号

国に対し、介護保険制度の見直しにあたり、誰もが安心して利用できる制度とするために意見書を提出願いたい。

※第1号第2号いずれも同一趣旨のもの

不採択との委員長報告に反対

現在国で進められている介護保険制度の見直しは、要支援者を保険給付対象外とするなど、これからの高齢社会において、誰もが安心して利用できる制度とかけ離れており、陳情に賛成。

陳情第4号

国に対し、特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書を提出願いたい。

不採択との委員長報告に反対

この法律は、「特定秘密」事項を指定するとしているが、何を秘密に指定するかは国民には知らされず、広範な情報を秘密にすることができると、成立後3か月が経過した今日においても、廃止を求める声は根強い。当市議会でも慎重審議を求める意見書を全会一致で提出したが、国会において強行採決されており、陳情に賛成。

同意した人事（敬称略）

○監査委員

加藤 良一

○人権擁護委員候補者推薦

下平 澄瑞

片桐 壽久

田中 清文

上郷小学校6年生が 議会を傍聴しました

3月6日上郷小学校6年生の皆さん125人が傍聴に來られました。議会についての説明後、本会議場において一般質問の様子を見学いただきました。

後日寄せられた小学生の感想の一部を紹介します。

◆議会を見学して、議員の方や市の職員の方が、飯田市のことをとてもよく考えて、よりよくしていくために真けんに話し合っているのを見て、うれしくなりました。私たちも、市のことを真けんと考えてもつといい飯田市になるようにしていきたいです。

◆将来私も議員さんや市長さんのようにこの飯田市をもっと良い所にできるように、市議会の見学で学んだことを生かしていきたいと思います。



傍聴の様子

議会による行政評価・提言に対する市の対応状況は

市が実施した平成24年度の事務事業について、議会による行政評価を行い、56事業について平成25年9月24日に提言を行いました。

この提言に対し、市から対応状況について各常任委員会で報告がありました。

特に議会から「廃止」と提言した「天龍峡温泉交流館管理事業」については、市は「見直し・改善」としましたが、今後市の動向を引き続き注視していきます。

主な対応状況を紹介します。

※これ以外の対応状況は飯田市議会公式ウェブサイトをご覧ください。
<http://www.city.iida.lg.jp/>



市長への提言の様子

議会からの提言	市の考え方	事業規模	予算規模
自治活動組織加入促進 支援事業 やり方改善 ・各地区での取組みについての意見交流を行い、他地区のよい点を取り入れる等の対応をされたい。 ・市民意識改革の醸成を図るために、地域自治組織全体の見直しを図られたい。	・まちづくり連絡会などでモデル事例を研究し、良い点が共有できるような仕組みを育てる。 ・平成26年度において、地域自治組織の検証を行い、必要とされる機能や取組みを明確にし、新たな事業展開につなげる。	見直し改善	現状維持
愛宕蔵保存活用事業 やり方改善 ・取得時の本来の目的であった「歴史的文化的価値を大切にし、市民の財産として保存再生利用する」ことと、蔵の街並みの景観を残すためにも、保存活用方法について積極的な研究をすべきである。	・経年変化により生じてきた施設の痛み（外壁等）を修繕し、愛宕坂の景観を保全する。 ・議会提案の趣旨にそって、愛宕蔵の価値を広く知っていただくための説明表示を設置する。	拡大	拡大
農作物被害対策事業 拡大 ・猟友会や警察との連携を図り、住宅地でも使用が可能な捕獲用具の利用の検討など捕獲の工夫をされたい。 ・竜西に出没しはじめたシカについても、被害が拡大しないように対策を講じられたい。	・関係団体や地域と協力し地域一丸となった被害対策を進める。 ・報奨金改定（平成25年度補正）や活動助成による個体数調整の推進、地域の学習会や追い払いによる活動を通じて、鳥獣に負けない地域づくりを目指して取り組む。また、檻・わな等の効果的な対策手法の研究検討する。	拡大	拡大
天龍峡温泉交流館管理事業 廃止 ・当該施設の利用の方向性が明確にならないので、過去の経過も踏まえ事業を廃止すべき。 ・地元の要望による管理運営、使用にあたっては、指定管理者制度の導入や周辺整備の状況を見据えた利用方法を検討すべき。	・地元、関係団体と共に検討した結果に基づく施設の利用方針及び民間による運営形態については、平成27年度からの民間への移行を目指し、平成26年度中に地域・関係機関との合意を図る。 ・平成26年度中の管理運営については、広報宣伝、運営方法の工夫や経費削減に取り組み、経費節減に努める。	見直し改善	現状維持

天龍峡温泉交流館管理事業 市の考え方に対する議会の対応

施設の今後については地区の皆さんも検討中であり、市は、その結果も踏まえて方針を出すとしている。平成26年度は施設の方向性を定めるための猶予期間と位置づけ、委員会としても、管内視察での現地確認や地元の皆さんとの意見交換などを通じて研究していく。また、市民の皆さんには、今後、議会報告会などの折に報告していく。

議会報告会を起点とした政策づくりに 引き続き取り組みます

平成25年度の議会報告会を通して、市民の皆さんから寄せられた208件の意見要望等は、委員会等に振り分け、対応を検討しました。このうち各常任委員会において、引き続き検討する課題を次のとおり整理しました。

委員会	改選時申し送り事項	平成26年度の課題
総務委員会	・地域協議会のあり方について	・地域協議会のあり方について ・自主防災組織のあり方について ・消防団組織のあり方について
社会文教委員会	・買物困難者、ごみ出し困難者への支援について	・買物困難者、ごみ出し困難者への支援について ・地域で子どもを育てるには ・公共施設におけるバリアフリー化の推進及びユニバーサルデザインの導入について
産業建設委員会	・鳥獣被害対策について ・地域小売業支援について ・不法投棄対策事業について	・鳥獣被害対策について ・遊休農地、耕作放棄地対策について ・市の観光施策について ・地域小売業支援について

平成26年度の議会報告会のテーマについても検討課題からの設定を予定しています。

議員研修会、学習会を行いました

市議会議員環境研修会

1月30日に環境ISOへの取組みの一環として環境研修会を開催しました。一般財団法人「地球・人間環境フォーラム」研究員の中村洋氏を講師に「気候変動と地方都市の果たすべき役割」と題した講演を聴講しました。

国際協力の取組みを通してのモンゴル・西アフリカ等の生々しい実態を聞くことにより、議員一人ひとりが日本の地方都市の果たすべき役割を考え、グローバルな課題として地球温暖化問題を正しく知り、具体的な行動に結びつけるきっかけづくりの場としました。



環境研修会の様子

リニア未来都市 ブランディング事業学習会

3月18日、市が進めているリニア未来都市ブランディング事業について金沢工業大学客員教授・京都造形芸術大学客員教授である竹内宏彰氏を講師に学習会を開催しました。

リニア将来ビジョンに掲げる「多機能高付加価値都市圏」を実現していくためには地域ブランドの確立が不可欠であることをあらためて認識し、事業の取組みについての理解を深めました。



竹内客員教授による学習会

が！ 市政を問う！

一般質問とは、市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来的な方針などを質し、説明を求めるものです。第1回定例会での一般質問の概要を紹介します。（質問順）

※■は、質問項目

リニア長野県駅設置に関し 地元意向の確認方法は

井坪 隆 議員（会派みらい）

Q 市は、リニアに関する事業を進める姿勢として、「地元の意向を聞きながら進める」としているが、リニア長野県駅設置に関し、どこで、どのような機会を想定し、地元の意向を確認するか。

A これまでも、リニアに関する地元対策委員会等には、担当職員ができる限り出席し、状況の把握に努めてきた。駅周辺整備の検討に当たっては、これから「検討の場」を設け、その検討を深めていく予定である。その際には、地元の意向を聞きながら進めていくとの立場から、地元住民にも参画いただく予定である。

リニア長野県駅設置に当たり 飯田線新駅設置の目的は

吉川 秋利 議員（会派のぞみ）

Q リニア長野県駅設置に当たり、飯田線に新駅が必要であるとの考えを示しているが、どのような目的をもってつくるものとしているか。

A 複雑な地形の南信州地域においてリニアを生かすためには、多様な交通ネットワークが必要であり、飯田線もその一つであると考えている。飯田線が骨格となり街がつくられていること、観光にも生かすべきであることや、県のアンケート結果からその必要性が認められる。

■市営住宅の管理について
■国民健康保険税の算定基準について

子どもの「考える力」を どのように伸ばすか

竹村 圭史 議員（会派のぞみ）

Q 子どもの「考える力」を伸ばすためには、自然と接することのほか、自ら課題を考え、自発的に取り組む手法が必要と考えるが、どうか。

A 市教委では、体験活動を中核にしたキャリア教育や身近な素材を教材化することを大切にしている。これは小中連携・一貫教育の柱であり、今後さらに充実させていきたい。また、発達段階に応じ、自ら学習する姿勢も育てていきたいと考えており、自ら取り組む家庭学習となるよう、各学校において研究している。

中学生の部活動に対する 考えは

熊谷 泰人 議員（会派のぞみ）

Q 県から「中学生期のスポーツ活動指針」が示されたが、これに対する教育委員会の見解は。

A 部活動は、技能や体力とともに豊かな人間性を育む機会でもあると認識している。一方、過度・過剰な部活動は適正化を図る必要があると考えている。市教委としては、生徒の自主性を尊重しながら、知・徳・体のバランスのとれた子どもたちを育て、社会教育との連携を図る中で、子どもたちにとってより良い活動となるよう取り組むことが重要であると考えている。

■南信免許運転センターの今後について

二つの古都を生かした 観光政策は

湯澤 啓次 議員（会派のぞみ）

Q 「麻績の里」「旧市街」を、この地方のいわば二つの古都であると捉え、この二つを結びつけた観光政策は、どうか。

A 麻績の里周辺は、恒川遺跡群等多様な歴史文化資産を含め、その魅力を「2千年浪漫の郷」として、この地の自然文化の魅力を感じる入口として、散策し、満足度の高い時間を過ごす場になりたい。現在整備活用事業が進む「橋北まるごと博物館」のエリアを含めた「まちなか観光」の魅力を高めて有機的な生かし方を考えたい。

■年頭所感「持続可能な地域づくり」に求められる事業構想について ほか

公契約条例制定の考えは

福沢 清 議員（会派みらい）

Q 自治体発注工事等において、労働者の労働条件改善などを確保するとの観点から公契約条例を制定する動きが増えつつあるが、市において制定する考えは。

A 入札・契約制度改革については、これまでも総合評価落札方式の試行や最低制限価格の引き上げなどに取り組んだ。制度の適正化を図ることは重要な課題であるため、引き続き改革に取り組むとともに、公契約条例も一つの手法として、県や他の自治体の動きを参考にし、研究を進めたい。

■ながのパーソナル・サポート・センターについて

公共施設を中心拠点に 集積するとの方針は

清水 可晴 議員（市民パワー）

Q 県警から、南信運転免許センターの駅前商業施設への設置は、不適切との判断があった。市は、これまで公共施設を中心拠点に集積するとの方針で取り組んできたが、この方針に変わりはないか。

A 一般論として、人口減少、少子高齢化の時代において、公共施設はその機能を拠点に集約化し、各地区とのネットワーク化していくことが、市の都市構造として必要と考えている。中心拠点には、中心拠点としての集約化が大切であると考えている。

■市の臨時・非常勤職員の待遇と雇用安定について

地域包括ケアシステム 構築のプロセスは

村松 まり子 議員（公明党）

Q 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するために、包括的な支援サービス提供体制を目指す地域包括ケアシステムの構築が課題であるが、その構築プロセスは。

A 地域包括ケアは「福祉サービス」「介護・医療予防」などの5つの構成要素を、自助・公助・共助・互助によって包括的に支えるものである。高齢者のニーズや、地域、社会資源、支援者などの課題を明らかにし、それを介護保険事業計画に反映し計画的にシステムを構築することとしたい。

■がん対策の推進について

消防団員家族ヘクーパーン券 を支給してはどうか

永井 一英 議員（公明党）

Q 消防団は、地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在であり、団員確保のためには、処遇改善の必要ほか、家族の理解も必要であると考えている。近隣町村においては消防団員協力助成金として、家族支援のクーポン券を支給している自治体もあるが、市はどう考えるか。

A これまでの市の対応としては、退職報奨金支給基準を市独自に優遇的な制度とするほか、消防団や団員の装備の充実等に対応してきた。家族を含めた助成については、提案の一つとして受け止めていきたい。

市営住宅におけるコミュニティの形成をどう考えるか

原 和世 議員（会派みらい）

Q 市営住宅は、入居者の高齢化、外国人世帯の増加等の現状において、住民によるコミュニティを形成していく上で様々な課題が発生しているが、市としての関わりをどう考えるか。

A 市営住宅は住宅に困窮している世帯への低廉な家賃での住宅供給を目的としており、結果としてコミュニティを形成しづらい現状があることは認識している。課題解決には、一つの部署で対応することは難しいと考えており、まずは、庁内の連携体制を整えることから始めていきたい。

パーソナル・サポート・センターへの市の関わりは

木下 容子 議員（市民パワー）

Q 27年度の生活困窮者自立支援法の施行に向け「ながのパーソナル・サポート・センター 飯田サテライト」の継続に向け市の関わりをどう考えるか。

A 生活困窮者自立支援法の施行に向けて、これまでの活動を引継ぎ、地域の状況に応じた支援事業の活用や関係機関等のネットワークを拡充していくことが大切と考える。飯田地区の場合、市と県双方が協力連携していくことも重要であり、体制整備に向けて協議をしていきたい。

地域に関する学習に体系的に取り組む考えは

山崎 昌伸 議員（無会派）

Q 義務教育において、例えば「宮澤芳重」「菱田春草」などの郷土出身の「人」や「りんご並木」の「心」などを体系的に教えることが、地域に根差した道徳・社会・歴史教育であると考えられるがどうか。

A ご指摘のとおり、市教委において、市内の子どもたちが地元に関して何を学ぶべきかについては、整理する必要があると考える。その上で、各学校において、学校長中心に職員がその重要性を改めて認識し、子どもたちや地域の実情に合った取り組みがなされるような教育活動の展開を支援していく必要がある。

雪害への対応を見直す考えは

森本 政人 議員（市民パワー）

Q 今回の大雪では改めて自助・共助・互助・近助が必要であり、これらが今後の協働社会においての要になると考えた時、これまでの雪害対応マニュアルを見直し、地域の皆さんと連携する仕組み作りにより一歩踏み出す必要があると考えるがどうか。

A 飯田市地域防災計画及び雪害対応マニュアルは、平成13年1月の大雪を踏まえおおむね10年に一度は予想される降雪を念頭に策定したものである。今回の大雪による被害や道路の渋滞は前回より少なかったと考えるが、今回の雪害の検証を踏まえ今後検討したい。

市内の手話通訳者の状況は

古川 仁 議員（日本共産党）

Q 現在、市内における手話通訳者及び手話通訳士の登録人数と、その活動状況はどうか。

A 市内には手話通訳者の資格を有している人が10人おり、そのうち7人が派遣事業で活躍いただいている。手話通訳奉仕者は107人が登録いただいている。手話通訳者や奉仕者の皆さんによる飯田手話サークルという自主的な組織があり、相互に研さんし、簡単な手話の普及活動を行っていると聞いている。

■飯田市の生活保護について
■飯田市の国民健康保険について

リニア開通に向けて社会保険費確保への影響はないか

小倉 高広 議員（日本共産党）

Q 今後リニア中央新幹線開通に向け、市の財政に占めるリニア関連予算が増大していくことが見込まれるが、社会保障費を圧迫することはないか。

A 今後、リニア中央新幹線開通に向けて社会資本整備に関連する経費の増加が予想されるが、それに対しては、様々な補助金の活用や、税収入が向上するよう産業振興策を行う必要がある。また、社会的に弱い立場の市民に手を差し伸べるのが行政の基本と考えており、社会保障費についても国の制度を十分活用し経費確保に努めている。

事業所に賃金引き上げを働きかける考えは

後藤 莊一 議員（日本共産党）

Q 当地域は、県内他地域に比べて賃金が低い傾向がある。物価の上昇や、予定される消費増税に向けて、労働者の賃金引き上げを事業所に働きかける考えはないか。

A 当地域の景気の状況は、いまだ不透明であり、個別事業所の業績においても同様であると考えている。当地域の経済の好循環を実現するためには、各事業所の業績が向上し、従業員の賃上げに繋がるよう、産業振興の支援策を推進していくことが必要であると考えている。

ジオサイトを活用した化石発掘授業の実施は

新井 信一郎 議員（会派のぞみ）

Q ジオサイトを活用した環境教育も必要と考えるが、今年度、上久堅、千代、千栄小学校合同で実施した、化石発掘授業の状況は。

A 理科の合同授業として、3校が千代小に集まって、外部講師の講義を聴き、その後、米川峠の化石発掘現場で実際に化石を掘って学習した。これは、小中連携・一貫教育に関連した「小小連携」のモデル的な取り組みであり、来年度も引き続き実施していく予定である。

■リニア中央新幹線開通を見据えた中央自動車道の新たな活用策について ほか

生ごみ堆肥化の現状は

木下 徳康 議員（会派のぞみ）

Q 旧市内の一部地域において、家庭や、事業所の生ごみを分別収集し、堆肥化しているが、その現状はどうか。

A 生ごみの収集量は、最近5年間の平均年間175トンで、対象区域における参加率は88.7%となっており、皆さんの協力により一定量が安定的に確保されている。これまでに、町内会やまちづくり委員会による堆肥センターの見学研修や、生ごみ堆肥を利用した取り組みなどを行ってきた。分別の徹底も進んでおり、事業開始から10年経過し、定着してきている。

天龍峽姑射橋周辺整備の考えは

清水 勇 議員（会派のぞみ）

Q 天龍峽姑射橋広場やあざれあ駐車場を観光客や地元の交流広場として利活用する考えは。

A 天龍峽姑射橋広場は26年度以降地元と協議し整備を進めていく。天龍峽大橋（仮称）完成後には、訪れた観光客を姑射橋周辺まで誘導し、周遊していただくことが重要である。そのために、今田平、桜街道を含めた、あざれあ周辺整備も必要であると考えており、地元と協議を進めたい。

■平成26年度予算案について
■今回の大雪に対する、市と各地域自治区の対応について

総務委員会

3月11日に委員会を開催しました。委員会での質疑等の様子を紹介します。

議案第13号

飯田市有線テレビジョン放送施設条例及び飯田市遠山郷有線テレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例の制定について

案件の概要

消費税率の改定及び民間当事者との均衡から使用料の改定を行う。

★反対討論

条例改正が消費税率引き上げと民間事業者との均衡を図ることを目的としても、市民にとって負担増となることから消費増税に反対の立場から反対。

■挙手採決の結果、賛成多数で可決しました。

議案第22号

公の施設の指定管理者の指定について（飯田市旧飯田測候所）

案件の概要

おひさま進歩エネルギー(株)を飯田市旧飯田測候所の指定管理者として指定する。

公用以外の使用の扱いは

Q 指定する団体の社屋機能など公用以外の使用をどう扱うか。

A 地方自治法第238条の4の規定により施設の本来の用途を阻害しない限り、公用でなくても、その使用を認めることができるとして、公用以外の使用を許可し、その部分には月々定額の使用料を徴収する。



飯田市旧飯田測候所

議案第54号

平成26年度飯田市一般会計予算(案)

空き家対策の対応は

Q 空き家対策は、どこまで自治振興で行うか。

A 活用を目的に、①市民協働の空き家検討組織を立ち上げ国の動向を見ながら、飯田市の空き家対策方針を定めていくこと。②行政組織間の連携体制を強化すること。③地域において課題解決の糸口をさぐる実践研究を支援すること。以上3点に着眼して行いたい。

パワーアップ地域交付金の加算は

Q 総額1億円の予算において、面積割加算を検討しているか。

A 面積割加算などの意見をどういった組織で検討すべきかも含め、26年度の内部検証とともに考えていきたい。

防犯灯LED化完了見込みは

Q 防犯灯のLED化は、26年度に完了できるか。

A 26年度に取り替えた残りを27年度に行い、27年度で完了する予定である。

電子申請の対象となる施設は

Q 電子申請届出の対象となる施設とシステム概要は。

A 市が管理する体育施設が対象である。本予約は出向いて行う必要があるが、その前段の手続で施設の空き情報が確認でき、仮予約ができるシステムである。

残土捨て場明確にすべきでは

Q リニアのトンネル工事に伴う残土の土捨て場を市が主体として研究し、予算で明確に示すべきでは。

A 残土捨て場の候補地は、埋め立て後の用途や法規制の状況、さらには運搬経路などから検討し、上伊那・木曽も含め、県が調整することになっている。

指定管理維持管理委託料の内訳は

Q 飯田市旧飯田測候所の維持管理委託料447万円の内訳は。

A 建物の通常の維持管理に加え、再生可能エネルギー等環境政策の視察が相当数予想され、その対応も含め、管理者1人分とパート2人分の人件費と需用費である。

請願・陳情審査 市民の願いはどうなった

陳情第4号

★陳情者

佐藤 功氏

★陳情趣旨

国に対し、特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書を提出願いたい。

■慎重な審査の結果

「不採択」としました。

★委員会での主な意見

○「秘密」の定義が不明確で国会の討論の熟度が不十分であり、国家にとっても国民にとっても危険な法律と言わざるを得ず、一旦廃止し、もう一度、原点に帰り議論し直すべき。また、飯田市議会では全会一致で特定秘密保護法案に対する慎重な審議を求める意見書を提出した経緯も踏まえ、制定された法の廃止をすべきで、採択。

○飯田市議会で提出した慎重な審議を求める意見書は、その必要性を認めるものとしており、現在、その運用の議論を進めており、廃止を求めるべきではなく、不採択。

社会文教委員会

3月12・14日に委員会を開催しました。委員会での質疑等の様子を紹介します。

議案第7号

飯田市麻績の里交流センター設置条例及びふれあいの郷松ぼっくりの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第17号

飯田市公民館条例等の一部を改正する条例の制定について

議案第18号

飯田文化会館条例等の一部を改正する条例の制定について

議案第20号

飯田市美術館条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

案件の概要

消費税率の改定により、使用料等の値上げを行う。

■条例改正の趣旨から一括議題として審査しました。質疑の後、反対、賛成それぞれの立場から討論がありました。

★反対討論

消費税増税そのものに反対する。増税分を利用者に転嫁することなく、使用料は据え置きとすべき。

★賛成討論

今後の社会保障費の動向をみると増大することは明らかである。今回の消費税はその社会保障費を賄うためであることが決定されており、苦渋の選択であるが、消費税はやむを得ないので、賛成。

■挙手採決の結果、いずれも賛成多数で可決しました。

議案第47号

飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案

今後の国民健康保険の運営は

Q 25年度、国保税の値上げはなかったが、今後の見通しはどうか。

A 25年度決算は1億7千万円ほどの繰越金となる見込みである。これは基金を取り崩して保険給付費の不足分を補っており、予備費の財源となる基金が残りわずかになっている。相変わらず所得の回復が見込めないことや保険給付費の自然増等を考慮すると、26年度も大変厳しい国保運営となる見通しである。

議案第46号

平成25年度飯田市一般会計補正予算（第6号）案

結婚相談事業直営の考えは

Q 結婚相談事業は、全国的には行政直営の傾向にある。今後、直営で行う考えはあるか。

A 飯田市社会福祉協議会が実施することにより、民間業者や結婚相談員と

連携や協働ができ、地域単位でのきめ細やかな取り組みが期待できる。

議案第54号

平成26年度飯田市一般会計予算案

（仮称）こども家庭応援センター事業の内容は

Q 新規事業だが、26年度は何を行うか。

A 26年度は、開設準備として、センターの役割や機能といったあり方について、市民会議や庁内組織での検討、先進地視察、専門分野のアドバイザーからの指導を受けるといったことを行う。27年度からりんご庁舎にてセンターを開設する予定である。

がん検診未受診者への勧奨は

Q 一定の年齢の方を対象としたがん検診の検診無料クーポンが、26年度から縮小となることだが、未受診者に対して、受診勧奨の取り組みは。

A 今年2月に成立した国の補正予算により、子宮がん検診と乳がん検診の無料クーポン券を受け取っていないが未受診の方には、改めて無料クーポン券を送付して検診の受診促進を図ることになった。当市では、管理システムによってクーポン配付で未受診者を把握しているので、国の方針に沿って対応すべく検討を進めている。

奨学金償還免除は

Q 奨学金の償還免除の考えは。

A 大学等を卒業後に、飯田市に戻って居住した場合は、償還を一部免除する制度がある。

請願・陳情審査 市民の願いはどうなった

陳情第1号

★陳情者

飯伊民医連介護ウエーブ推進委員会

委員長 池田 克文氏

■慎重な審査の結果

「不採択」としました。

陳情第2号

★陳情者

伊那谷健康友の会

会長 野口 次郎氏

■慎重な審査の結果

「不採択」としました。

★陳情趣旨

国に対し、介護保険制度の見直しにあたり、「介護の社会化」の理念に沿って誰も安心して利用できる制度とするために意見書を提出願いたい。

※この2件は陳情趣旨が同一のため、審査を一括して行い、採決はそれぞれ行いました。

★委員会での主な意見

○財源については、今回の消費税増税で手当てすることになっている。また、改正の一つである要支援を介護保険給付から外すといった給付抑制や、利用料負担割合増等は、制度改悪につながり、介護を社会全体で支えるという当初の理念に反するので、陳情に賛成し、採択。

○国の財政状況を認識し、社会保障制度を持続可能としていくには、抜本的な制度改革が必要であり、今回の制度改正はその一歩である。一方で要支援1・2の受け皿は、市町村が実施する地域支援事業となる予定だが、サービス事業者や市の財政負担に不安が残る、懸念を抱く。心情的には理解できるものの、不採択。

産業建設委員会

3月13・14日に委員会を開催しました。委員会での質疑等の様子を紹介します。

議案第8号

地方卸売市場条例の一部を改正する条例の制定について

案件の概要

消費税率の改定により、消費税相当額を8%にする。

★反対討論

消費増税を踏まえた条例改正は、取引量の減少につながるため、認めがたい。
■挙手採決の結果、賛成多数で可決しました。

議案第9号

飯田市天龍峡温泉交流館条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第10号

飯田市下水道条例及び飯田市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について

議案第21号

飯田市水道条例及び飯田市簡易水道給水条例の一部を改正する条例の制定について

案件の概要

消費税率の改定により、使用料等の値上げを行う。

★反対討論

経営努力により、各料金の値上げは抑えるべきであり、消費増税に伴う料金の値上げは認めがたい。

■挙手採決の結果、いずれも賛成多数で可決しました。

議案第61号

平成26年度飯田市簡易水道事業特別会計予算(案)

議案第62号

平成26年度飯田市下水道事業特別会計予算(案)

議案第67号

平成26年度飯田市水道事業会計予算(案)

★反対討論

消費増税に伴う水道使用料金等の増額は市民生活を圧迫するため、認めがたい。営業努力で料金等を据え置くべきである。

■挙手採決の結果、いずれも賛成多数で可決しました。

議案第46号

平成25年度飯田市一般会計補正予算(第6号)案

通り町駐車場整備の必要性は

Q 市内にさらに駐車場が必要と考えての予算計上であるか。

A 通り町の新たな駐車場への補助は、中心市街地活性化基本計画に駐車場整備が位置付けられていることや、近隣の市営駐車場の利用状況、地元商栄会の要望等も踏まえているものである。

議案第54号

平成26年度飯田市一般会計予算(案)

6次産業化推進具体的な内容は

Q 農業振興費にある、6次産業化推進事業について具体的な内容はどうか。

A 農産物の生産・加工・販売のネットワーク組織による6次産業化への取組に対して支援するもので、市内の2つの農業法人に対し大豆の大型乾燥機整備と、農産物の加工・販売・食事提供施設等の整備に係る4億1千万円の事業について、二分の一の補助を行うものである。

新たな産業団地の候補は

Q 新たな産業団地の候補地はあるか。

A 整備方針に沿って、市内57か所について検討し、4地域を選定したところである。現在その中で検討している。

議案第71号

平成25年度飯田市一般会計補正予算(第7号)案

雪害によるパイプハウス建替えへの補助は

Q 農作物被害対策事業費について2月の大雪によってパイプハウスが倒壊したが、農業者からは、この際、より頑丈な設備に建替えたいとの声も聞く。補助はできないか。

A 施設の現状復旧が基本であるが、今後の国県の説明会で詳細を聞き、国県とも協議しながら対応してまいりたい。

請願・陳情審査 市民の願いはどうなった

請願第1号

★請願者

日本労働組合総連合会 長野県連合会

会長 中山 千弘 氏

★請願趣旨

国に対し、雇用の安定を求める意見書を提出願いたい。

■慎重な審査の結果

「採択」としました。

★意見書の提出

雇用の安定を求める意見書として関係行政庁へ提出しました。

陳情第3号

★陳情者

J Aみなみ信州農政対策協議会

会長 矢澤 輝美 氏

★陳情趣旨

国に対し、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉に関する国民への情報開示を徹底すること等を求める意見書を提出願いたい。

■慎重な審査の結果

「採択」としました。

★意見書の提出

TPP交渉に関する意見書として関係行政庁へ提出しました。

リニア推進特別委員会

3月18日に委員会を開催しました。委員会での質疑等の様子を紹介します。

◆長野県リニア活用基本構想(案)に対する市の意見に関し

Q 駅周辺整備において、市がイニシアティブをとっていくと思うが、南・中央アルプスなどの眺望の確保について考慮していくか。

A 駅そのものまたは駅周辺を含める整備において、地域らしさを出していく必要があることは認識しており、当然、市が取り組む事業でも考慮していく。

◆県のリニアを活かした「地域づくり勉強会」の報告に関し

Q 交通ネットワークの構築で、国道153号の国の直轄指定区間編入については、議会としても意見書を提出したが、早急に実現のための運動を強めないと、それこそ進まないのではないか。

A 国直轄道路を都道府県管理とする方向が大きな流れである。したがって、指定区間編入については、極めてハードルが高いが、引き続きその都度要望をしていく。また、直轄指定区間編入実現ができるまでの間、事業を滞らせる訳にはいかないので、引き続き、事業主体、整備手法を問わず、必要なアクセス整備ができるよう、併せて取り組んでいきたい。

政務調査報告

政務活動費を活用し、25年10月から26年3月までに実施した各会派の調査研究の概要です。3月18日には、政務調査研究報告会を議場で行いました。

■詳細は飯田市議会公式ウェブサイトをご覧ください。
<http://www.city.iida.lg.jp/>



政務調査研究報告会の様子

会派のぞみ

- 実施日 10月3日(木)～4日(金)
2月11日(火)～12日(水)
- 調査事項等
- ・第11回スローライフまちづくり全国都市会議 市議会の会 (岐阜県岐阜市)
 - ・地方議員セミナー in 東京
 - ・国会議員への陳情活動
 - ・アーバンファーム(都市型農業)視察 (東京都千代田区)

市民パワー

- 実施日 8～11月
2月3日(月)～4日(火)
- 調査事項等
- ・市民アンケート実施結果
 - ・2014地方財政セミナー

会派みらい

- 実施日 10月18日(金)
11月12日(火)～13日(水)
- 調査事項等
- ・天龍村議会との交流懇談
 - ・人口減社会の対応を視る (香川県直島町)

公明党

- 実施日 10月17日(木)～18日(金)
1月21日(火)～23日(木)
- 調査事項等
- ・定住支援策と空き家の活用 (山形県庄内町)
 - ・「24時間健康・医療相談サービス」の取組み (山形市)
 - ・「新図書館構想」の取組み (佐賀県武雄市)
 - ・「長崎EV&ITSプロジェクト」の取組み (長崎県)
 - ・地域通貨「しまとく通貨」の取組み (長崎県他)

日本共産党

- 実施日 1月27日(月)～29日(水)
- 調査事項等
- ・「葉っぱビジネス」と「ごみゼロ宣言」の取組みについて (徳島県上勝町)
 - ・小水力発電の取組みについて (熊本県山都町)
 - ・環境モデル都市の取組みについて (熊本県水俣市)

無会派

- 実施日 11月23日(土)～24日(日)
2月12日(水)
- 調査事項等
- ・地方議員セミナー
「子ども・子育て支援新制度と自治体行政」
 - ・市町村議会議員研修
「そもそもから学ぶ社会保障」

議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～くつ下がない!! 子育て奮闘記～

ふる かわ ひとし
古川 仁

くつ下が片方ないよー。漢字プリントがどっかにいっちゃった。〇〇の会費今日までだって、お金ちょうだい。あー、味噌汁こぼしちゃった・・・

我が家は子ども7人。毎朝、学校や保育園へ送り出すまで、「らんごく」が続きます。

上の子がまだ保育園の頃は、自分も若く仕事にも、時間にも追われ、気分や感情など「自分の都合」で子どもを怒鳴っていたこともありました。今から思えば、お恥ずかしい限りです。子育てにはある程度「心のゆとり」がないといけなさと反省しています。行き詰まった時は、実家の両親に助けてもらったことも…。そんな長女も今年成人し社会人に。長男は愛知の専門学校へと旅立ちます。あの頃よりも少し年をとり「親」として成長させてもらっています。今ではこの春、小学生になる末っ子の子育てを、家族みんなで楽しんでいきます。さてさて明日、朝の闘いにそなえて今日もくつ下を揃える古川でした。



～子ども達に未来を託す卒業式～

お ぐら たか ひろ
小倉 高広

窓の外に春の息吹を感じる日、上郷小学校の卒業式に参列させていただいた。私にとっては何十年ぶりかの卒業式でとても新鮮に感じられた。

思い通りの服装、151人一人ひとりへの卒業証書の授与など昔との違いを感じた。校長先生や来賓の言葉にも成長を祝い、未来を託す思いが込められていた。

振り返って、自分は卒業式のことより、春ののどかな日差しの下で、進学を待つ心のときめきを、今でもはっきり覚えている。その春休み、私は上久堅小学校だったので、同級生や女の先生と吉永小百合の「勇気あるもの」を口ずさみながら「神之峰」に登った。その歌は、「この道は長いけど、歩きながらゆこう。石ころだらけでも歌いながらゆこう。ごらんひまわりは空へ空へ太陽へ」という歌詞だった。時代は変わっても、はなむけになる詩だと思う。君たちのことをいつも思っていてくれる人のいることを忘れずに前を向いて歩いていて欲しいと願った卒業式だった。

市議会ウォッチング



この欄では、傍聴者からのアンケートにより、市議会へ寄せられた意見を紹介します。

◇議会の活動を市民が知る機会が少ない。市民に市政をもっと身近に感じられることが必要かと思えます。

◇常に活気のある議会となつてほしい。

◇市民の声がもっと入るとよい。飯田市議会の良さをさらにPRすると良いのでは。

◇開かれた議事を唱え、実践されている。議会報告会には、もっと多くの市民に参加してもらいたい。

本会議、委員会とも個人・団体で自由に傍聴いただけます。市政運営や議会活動の様子を知ることが出来る絶好の機会ですので、ぜひ傍聴にお越しください。事前予約は不要ですが、団体等大勢での傍聴は事前に議会事務局に連絡をお願いします。

議会中継をしています

本会議の様子は飯田ケーブルテレビデジタル714chで中継しているほか、一般質問の様様をユーストリーム(インターネットによるオンライン動画配信サービス)で中継しています。ユーストリームは録画映像も見られます。ぜひ、ご覧ください。<http://www.city.iida.lg.jp/>

編集後記

3月市議会定例会は、平成26年度予算案を中心に多くの議案が審議され、議員それぞれの立場で活発な議論が行われました。限られた紙面ですが、議論のエッセンスが伝えられれば幸いです。

今議会の一般質問を小学生の皆さんが傍聴されました。市政に若い方々が関心を持って頂くことは、大変意義あることと思います。議会改革の一環として発足した当委員会も2年目になります。今後も「議会だより」、「議会ホームページ」、「議会報告会」を通じ開かれた議会、見える議会としての活動を更に進めて参ります。皆様のご意見ご要望をお寄せください。

議会の動き(予定)

■議会への請願・陳情の締め切りは

5月26日(月) 午後5時です。

議会事務局へ提出してください。

■第2回(6月)定例会は5月30日(金) 開会

広報広聴委員会

委員長 木下 容子
委員 木下 徳康
新井信一郎

副委員長 湊 猛
熊谷 泰人 古川 仁
福沢 清 村松まり子